opusdei.org

39. イエスの死はど のようなものであっ たか?

「私たちがまだ罪人であった時、私たちの為に死んでくださったことによって、神は私たちに対するご自分の愛を示されているのです|

2016/09/28

イエスは「ニサン」の月の14日 目、西暦30年4月7日に十字架上 に釘で打ち付けられて死にました。 福音書の記述への批判的な分析と、 タルムードで伝えられている死に関する言及(参照: TB, Sanhedrin VI,1; fol. 43a)から、このように結論づけられます。

十字架に張り付けるというのはローマ帝国が奴隷と反逆者に科した死刑の一つです。それは、不名誉という意味合いがありローマ市民には適用されず、外国人のみに適用されまれる。ローマ帝国の行政官がそれをして以来、すりしばしば行われたことを示すりしばしば行われたことを示すのQuintilio Varo総督は反乱に対する報復として紀元前4年に2000人のユダヤ人を十字架にかけました。

イエスがどのような形で十字架に架けられたかということについて言及する上で、エルサレムの郊外にあるGivat ha-Mivtar の墳墓で行われた発掘は間違いなく興味深いものです。そこで、西暦1世紀の前半に十字架

に架けられた人の埋葬が発見されま した。すなわち、イエスと同時代の ものです。墓碑銘からハッゴルの息 子のヨハネという名前が判ります。 身長は170センチで、死んだ時はお よそ25歳であったと推測されます。 十字架に架けられた者であることは 疑う余地がありません。というのも 墓掘り人は足を留めていた釘を取り 除くことが出来ず釘を付けたまま埋 葬しています。同時に十字架の木の 一部分も残っていました。これから その若者の十字架はオリーブの木で できていた事が判りました。両脚の 間に木の小さな出っ張りがあり、そ れが体を少し支え、椅子として使え たように見えます。そのようにして 罪人は少し力を回復することが出来 たわけで、その支えが無かったら腕 から吊り下げられた全体重で窒息に よる即死につながったでしょうが、 それを避けるために呼吸が出来るよ うにし、苦痛を引き延ばしたので しょう。両脚は僅かに開き、たわま

せてあったようです。その墓の中で 発見された遺骨の手の骨は釘が貫通 しておらず、砕けた形跡もありませ ん。従って、多分その人の両腕は単 に十字架の横木に強く縛りつけられ ていたのであろうと考えられます (これはイエスが釘を打たれていた のとは異なります)。一方、両足は 釘で貫かれていました。その片足に は大きくて十分に長い釘が打たれた まま残っていました。その置かれて いた位置から、同じ釘が両足を貫通 していたと考えられます。すなわち 両脚を少し開き、支柱が両脚の間に くるようにし、右くるぶしの左側と 左くるぶしの右側を横木の側面で支 え、長い釘を最初に足のくるぶしか らくるぶしに打ち、その後に木の支 柱に、続いてもう一方の足に打ちこ んだと考えられます。キケロによる と、その十字架への磔の刑は〈最も 重い罪〉、〈最も残酷かつ残虐〉、 〈最悪かつ極悪、奴隷に対する拷

問〉です(キケロIn Verrem II, lib. V、60-61)。

それにもかかわらず、イエスの十字 架上での死を想像して、真実に近づ くためには歴史が例証できる悲劇的 な痛ましい詳細にとどまっていては 十分ではありません。最も深い真実 は「キリストは聖書に書いてあった通 り我々の罪のために死んでくださっ たのである | (1 コリント15,3)と告白 することです。十字架上の死に寛大 に身をゆだねたということは全人類 に対する神の愛情の大きさを明らか にしています。「私たちがまだ罪人で あった時、私たちの為に死んでくだ さったことによって、神は私たちに 対するご自分の愛を示されているの です | (ローマ5,8)。

参考書: Simon LÉGASSE, El proceso de Jesús. La historia

(Desclée de Brouwer, Bilbao 1995) 137-143; Nicu HAAS, «Antropological Observations on the Skeletal Remains of Giv'at ha-Mivtar»: Israel Exploration Journal 20 (1970) 38-59; Francisco VARO, Rabí Jesús de Nazaret (B.A.C., Madrid, 2005) 186-191.

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-39/ (2025/12/12)